



▲新入団員を代表し宣誓する向山裕太団員（西寒野区）

甲佐町消防団が新体制に 令和5年度甲佐町消防団辞令交付式

4月16日（日）甲佐中で令和5年度甲佐町消防団の辞令交付式が行われ、新体制での活動がスタートしました。式では奥名克美町長が田上慎太郎さん（横田区）を新団長に任命。本年度は新入団員25人を加え、5分団28部の総勢370人が地域防災力の要として、消防・防災活動に従事します。式終了後、消防署員の指導のもと、ホース延長の訓練なども実施されました。



▲新甲佐町史に記載されている阿蘇（恵良）惟澄について講演する柳田さん

次代に受け継ぐ郷土の歴史 第23回新甲佐町史歴史研修会を開催

3月25日（土）町生涯学習センター・ホールで第23回新甲佐町史歴史研修会が開催されました。今回は、「阿蘇（恵良）惟澄と十四世紀内乱」と題して、熊本中世史会代表の柳田快明さんが講演。36人が受講し、十四世紀内乱中期に肥後南朝勢力の中心となった人物である阿蘇（恵良）惟澄の足跡や晩年の様子について学びました。



▲「ろくじ館」の取り組みを学ぶ台湾の来訪者たち

町の農業施策を海外に発信 台湾から「ろくじ館」などを視察

5月17日（水）台湾で農村発展に貢献した地域のリーダーとして表彰された農業従事者など30人余りが甲佐町農業研修センター「ろくじ館」や「やな場」を訪れ、農業を通じた地方創生や6次産業化の取り組みなどを視察しました。地元の新鮮な食材を安く販売している「ろくじ館」では、手数料や価格設定、仕入先とのやり取りについて質問が飛び交いました。



▲緑町区の皆さんに振り込め詐欺について注意を呼び掛ける永井室長

振り込め詐欺に注意 町公民館主催講座を緑町区で開催

5月7日（日）緑町公民館で出前講座が開催されました。町くらし安全推進室の永井恒一室長を講師に迎え、地域住民25人が振り込め詐欺対策について話を聞きました。永井室長は「役所の職員を語る『還付金詐欺』が増えています。電話でお金のお話が出たら、家族や身近な人、警察に相談してください」と注意喚起しました。



▲稚アユを放流した後、笑顔を見せる甲佐小3年の児童たち

緑川で大きく育ってね 甲佐小3年生が稚アユ1万8千匹を放流

4月27日（木）中甲橋グリーンパークで、甲佐小学校（谷川裕明校長）の3年生39人が稚アユの放流を体験しました。サントリー九州熊本工場（嘉島町）が環境保全活動の一環として、子どもたちに水環境の大切さを伝えるために2005年から実施。児童たちは緑川漁業協同組合の協力のもと、体長6センチ程の稚アユ約1万8千匹を放流しました。

特別な時間を仲間と共に 第51回甲佐中学校体育大会

5月20日（土）甲佐中学校で第51回体育大会が開催され、「疾風怒濤～新たな歴史への第一歩～」の大会テーマのもと、全校生徒290人が全力で競技に臨みました。

開会式では、西本仁史校長が「生徒の皆さんは自分たちの手で限られた時間を工夫し、集中し、全力で取り組んでできました。3年生を中心としたその姿は、大変すばらしいものでした。君たちの本気の姿を皆さんに見せて感動を与えて欲しいと思います」とあいさつ。

各団長の堂々とした選手宣誓から始まり応援合戦や団体競技、全員リレーなどの競技で熱戦が繰り広げられました。

女子生徒全員で作りに上げた「よさこいソーラン」は、法被に身を包んだ3年生を中心に華やかな舞を披露。男子生徒全員で取り組んだ「民舞ソーラン節」では、力強い演舞で観客を魅了し、大きな拍手が送られました。



▲参加者を前にあいさつをする奥名克美町長

本町出身者が集い故郷を思う 第27回東京甲佐会総会・懇親会

4月22日（土）東京都の國學院大学キャンパスで第27回東京甲佐会総会および懇親会が開催されました。同会（岩本憲章会長）は主に首都圏在住の本町出身者などで構成され、会員相互の親睦と故郷である本町との交流や情報交換などを目的に平成6年に設立。総会では、本町にゆかりのある約50人が出席し、故郷への思いを温め交流を図りました。

▼力強く元気に選手宣誓を行う団長たち



▲女子生徒全員で作りに上げた「よさこいソーラン」



▲全員リレーで接戦を繰り広げる生徒たち